



地域医会だより

県央皮膚科医の会

本会はまだ正式に発足した医会というわけではありません。近隣の厚木市と相模原市には、既に長きにわたり立派に活動している皮膚科医会があります。海老名市・座間市・大和市・綾瀬市の4市には合わせれば相当数の皮膚科医がいるにもかかわらず、皮膚科医の集まる会が全くなかったことから、気軽に集まれる会の足がかりになればと考え、7年ほど前から講演会という形でこの会を年に1回か2回設けるようにしています。年間を通じて各種学会、講演会や研究会があちこちで数多く催されるため、神奈川に住む我々にとってはその気にさえなれば情報を得るために参加する機会は幾らでもつくれるはずですが。そうすると今度は、小さな地域会合では如何にしたら参加者を多く集められるか頭を痛めることになります。会を開く折には、4市の皮膚科医だけでなく近隣の市の先生方にも声をかけさせてもらうようにして毎回参加者数の確保には気を使います。いろいろな意味で、これからは会の運営方法そのものにも変革の必要性を感じています。 (文責：米元康蔵)



地域医会だより

横浜市皮膚科医会

平成20年度の報告

平成20年4月3日の総会で、新たに毛利忍先生（横浜市立市民病院皮膚科部長）の横浜市皮膚科医会会長就任が承認されました。前会長：村上通敏先生の8年間に渡る会の総合取り纏め、並びに内山光明先生の幹事長として永年の実務ご配慮に対しまして心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

また会長が公的機関所属のため、横浜市皮膚科医会事務局は新幹事長勤務先の渡辺皮膚科クリニック内に設置しております。

平成20年4月6日には第119回例会が開催されました。実は準備運営のすべてを村上通敏先生と内山光明先生に手配して頂きましたが、その内容は濃く、特別講演1は日本大学医学部皮膚科教授・照井正先生による「好酸球の浸潤が見られた皮膚疾患について」、特別講演2は横浜市立大学名誉教授・中嶋弘先生による「廃用症候群と皮膚」でした。大変充実した興味深いお話でしたが、新役員による連絡が十分でなかったためか、出席者数が少なめだったことは大変惜しまれました。

平成20年7月6日の第127回例会は神奈川県皮膚科医会との共催で行われました。ご担当頂いた野村有子先生のテーマは「心と皮膚」でした。

横浜市皮膚科医会では会の活動をさらに充実し、広く判りやすいものとする為、常任幹事有志による検討が行われ、会員の中でも若い先生方に積極的にご参加頂き意見交換や相談が気安くできる会にしようと言う意見が強かったため、高橋泰英先生、杉田泰之先生、蒲原毅先生、川口博史先生の4人の先生方による新たな企画部会を設立しました。その先生方の最初の活動として、第121回例会の企画・立案をお願いいたしました。

この例会では新たに2項目の企画が立ち上がりました。その1:「聞いて得する日常診療のコツ」(浅井俊哉先生ご担当)ではPitted Keratosisのご紹介を頂き、杉田泰之先生はその2:「皮膚科ヒヤリハット事例報告、トラブルを未然に防ぐために」を企画し透析患者への抗ウイルス剤投与も取り上げました。特別講演は横浜市立大学附属病院皮膚科教授・相原道子先生にお願いし、ご講演は「薬疹の意外な臨床とその対処」で、高須博先生、河原由恵先生には関連症例の報告をして頂きました。ご出席の先生方による活発な討論も行われ、「会の活動をさらに充実し、広く判りやすいものにしよう」という当初の目的は少し果たした感があります。平成21年度からは蒲原毅先生による「専門医試験 解答 解説」も新たに加える予定です。こちらもご期待ください。

新企画を多く立ち上げておりますが、横浜市皮膚科医会の趣旨は温故知新です。若い先生方には最新の知識でこの会を活かして頂き、経験豊富な先生方には学会では決して聞くことの出来ない今後の診療の糧となるようなお話をして頂きたいと考えています。

若い先生方からの新たな刺激と、経験豊かな先生方の実践に拠る効果的なご指導があれば横浜市皮膚科医会の発展は間違いないと確信しております。

その他、新役員による新たな試みとして浅井俊弥副幹事長による横浜市皮膚科医会のロゴ作りがありました。皆様の許にも新ロゴ入り封筒が届いていることと思います。

ただ、恒常的に横浜市皮膚科医会への若い先生方の出席が少ないのは今後の大きな課題と言えます。新企画は今後も継続していくつもりですので、すべての会員の先生方のご支援とご期待を心よりお願いする次第です。

横浜市皮膚科医会は横浜市医師会に所属し、横浜市医師会の学術活動、市民への広報活動も担っております。平成20年度の横浜市医師会関連の活動内容は下記の通りです。

1) 16回横浜臨床医学会学術集談会

平成20年12月1日(土)

於) ホテルキャメロットジャパン

座長 金沢皮膚科 川口博史先生

講演 山川皮膚科 山川有子先生

演題 コチニール色素による即時型アレルギー

2) TVK 録画放映

① 平成20年5月23日(金)、5月30日(金)

タイトル 「在宅医療1、2」

出演 ふくろ皮膚科クリニック 袋 秀平先生

② 平成21年2月20日(金)、2月27日(金)

タイトル 「冬にみられる皮膚疾患1、2」

出演 横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター皮膚科 蒲原 毅先生

3) 横浜市医師会市民広報記事

みんなの健康 こんな時どうする

タイトル 「魚の目と疣 どう違うのですか」 渡辺皮膚科クリニック 渡辺知雄

ここに平成20年度と21年度の2年任期・横浜市皮膚科医会役員の先生方のご氏名を改めてご紹介させていただきます。

平成20、21年度 横浜市皮膚科医会役員名簿

会 長	毛利 忍				
副 会 長	鎌田 英明	増田 智栄子			
幹 事 長	渡辺 知雄				
副幹事長	浅井 俊弥				
常任幹事	相原 道子	川口 博史	蒲原 毅	杉田 泰之	
	高橋 泰英	野村 有子	袋 秀平	村上 富美子	
監 事	樋口 通生	内山 光明			
幹 事	池田 祐輔	河原 由恵	金子 聡	木花 光	宋 寅傑
	高須 博	畑 康樹	平松 正浩	山川 有子	山田 裕道
参 与	菅原 信	杉本 純一	滝沢 清宏	岩井 雅彦	
顧 問	安西 喬	池澤 善郎	末木 博彦	中嶋 弘	
名誉会長	村上 通敏				
名誉会員	加藤 安彦	中西 淳朗	平井 義雄	花岡 宏和	

(文責：渡辺知雄)

地域医会だより

鎌倉市皮膚科医会

鎌倉市医師会会員で皮膚科を主たる診療科とする9人で構成（女性7人、男性2人）。過去数年間の診療所継承や新規開業などで世代交代が進む。鎌倉市には皮膚科診療の中核となる病院が存在しないため、今後の病診連携の確立が課題である。

(文責：原 尚道)

地域医会だより

藤沢市皮膚科医会

●平成20年3月13日（木） 19：30～

ザ・ホテル・オブ・ラファエロ湘南

講師：村上富美子（聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院皮膚科部長）

演題：「シミの話—後天性対称性真皮メラノーシスを中心に—」

●平成20年7月17日（木） 19：30～

ザ・ホテル・オブ・ラファエロ湘南

講師：新山史朗（北里大学医学部・講師）

演題：「男性型脱毛症の治療—今とこれから—」

●平成20年11月12日（水） 19：30～

ザ・ホテル・オブ・ラファエロ湘南

講師：天野博雄（群馬大学大学院医学系研究科皮膚科講師）

演題：「アトピー性皮膚炎と精神的ストレス—基礎的検討を含めて—」

●平成21年3月12日（木） 19：30～

ザ・ホテル・オブ・ラファエロ湘南

講師：蒲原 毅（横浜市立大学附属市民総合医療センター皮膚科）

演題：「皮膚感染症～最近の話題」

（文責：小林誠一郎）



地域医会だより

川崎市皮膚科医会

第6回川崎市皮膚科医会定時総会

平成20年10月1日（水）19：00からホテル精養軒（武蔵小杉）にて第6回川崎市皮膚科医会定時総会・第8回川崎市皮膚科医会例会学術講演会・情報交換会を開催しました。今総会において3期6年間会長としてご活躍いただいた福原右先生が顧問として、佐藤龍男先生が会長として承認されました。

講演会は東京慈恵会医科大学附属第三病院皮膚科教授の上出良一先生に「自信を持ってアトピー性皮膚炎を治そう」という演題でご講演いただきました。上出先生らしいウィットに富んだお話で約40名の参加者をひきつけ、その後の情報交換会もいつになく盛り上がりおりました。

（文：川崎市皮膚科医会副会長 井上奈津彦）

○ ○ ○ ○ ○
地域医会だより

三浦半島皮膚科懇話会 横須賀市医師会皮膚科部会

第40回三浦半島皮膚科懇話会 第23回横須賀市医師会皮膚科部会学術講演会

日 時：2009年2月28日（土）17：30～

場 所：セントラルホテル横須賀 5F 『橋の間』

製品紹介：アレルギー性疾患治療剤 アレジオン錠10・錠20 最近の話題

特別講演：『ステロイド外用薬の正しい使い方』

聖マリアンナ医科大学 皮膚科学 教授 相馬 良直 先生

司 会：金丸皮膚科 院長 金丸 哲山

共催：三浦半島皮膚科懇話会

横須賀市医師会皮膚科部会

横須賀市医師会

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

「ステロイド外用薬の正しい使い方」

聖マリアンナ医科大学皮膚科 相馬良直

ステロイド外用薬はその優れた抗炎症作用により、皮膚科治療の中心的位置を占めている。デルモベートに代表される強力なステロイド外用薬は我々医師にとってきわめて有用な武器であるが、その効果が強い反面、副作用にも注意が必要である。したがってステロイド外用薬を正しく使用するためには、その作用機序や薬物動態についての基礎的な知識が必要で、臨床的には、1ステロイド外用薬の副作用にはどのようなものがあるか、2どのくらいの強さのステロイドをどのくらいの量使用すると、どのような副作用が現れ得るのか、3外用部位による副作用の出方の違い、4副作用が出現したときの対処、5副作用を防ぐための外用方法の工夫、などを熟知していなければならない。本講演ではこれらの問題点について述べ、ステロイド外用薬を安全に使うためにはどうしたらよいか、皮膚科を専門としない医師にも役立つように解説してみたい。





地域医会だより

小田原市皮膚科医会

平成20年度、小田原市皮膚科医会では、2回の講演会を開きました。

まず5月に小田原市医師会の学術講演会の一環として、また7月には小田原市皮膚科医会の学術講演会として、それぞれ下記のとおり行ないました。

5月15日（水） 於小田原医師会衛生会館

「難治性白癬に対する抗真菌外用剤の有用性」

中嶋 弘先生（横浜市立大名誉教授）

7月9日（火） 於小田原医師会衛生会館

「爪白癬の鑑別診断と治療」

楠 俊夫先生（哲学堂くすのき皮膚科）

両先生とも大変わかりやすくお話くださり、思わぬ発見があったり、爪白癬の一般への認知度の高さを反映してか他科の先生方の聴講も多く、好評でした。

（文責：大林寛人）



地域医会だより

茅ヶ崎医師会皮膚科部会

症例検討会

日 時：平成20年6月17日（火）

場 所：茅ヶ崎市立病院 皮膚科外来

講 師：茅ヶ崎市立病院 皮膚科部長 掛水夏恵 先生

講演会

日 時：平成20年9月17日（水）

場 所：ネスパ茅ヶ崎5階

演 題：「外来で見落としてはいけない皮膚疾患～膠原病を中心に」

講 師：聖路加国際病院 皮膚科部長 衛藤 光 先生

○ ○ ○ ○ ○
地域医会だより

平塚市医師会皮膚科部会

第45回例会 テーマ「汗」

神奈川県皮膚科医会第125回例会にて合同開催

第46回例会 テーマ「下肢の皮膚病変とASO」～ASO診断と治療の実際～

出席者：21名

日 時：2008年1月23日（水）

場 所：平塚市地域医療管理センター

司 会：福永有希（平塚共済病院）

1 製品紹介（19：00～19：10）「クラリチンレディタブ錠について」シェリング・プラウ（株）

2 講演（19：10～20：10）

講師：大西 祐子 先生（平塚共済病院循環器内科）

【要旨】 動脈硬化性疾患は近年増加傾向にあり、リスクコントロールができなければ、その生命予後は良性疾患とはいえないほど不良である。

疾患のスクリーニングは、間歇性跛行などの特徴的な症状やパルスマッピングで比較的容易である。また、ABIは簡便でなおかつ予後と相関する指標である。

潰瘍や壊疽などの皮膚病変を伴う場合は、重症虚血肢であり非常に予後不良であり、切断を余儀なくされたとしても死亡率、対側切断、大切断等は高率である。重症虚血肢における血行再建術は現状として再狭窄率も高いが、救肢目的としてエビデンスレベルBであり、早期に診断し適切に行われることによって、生命予後をも改善すると思われる。カテーテルインターベンションのみならず全身動脈硬化性疾患の一病態として、内科的治療によるリスクマネージメントが重要である。

3 症例供覧（20：10～20：30）

北尾ゆり子（平塚共済病院）：急性扁桃腺炎で感染アレルギーを呈した一例

4 懇親会（20：30～21：30）

共催：平塚市医師会皮膚科部会、シェリング・プラウ株式会社

第47回例会 テーマ「日常診療における脱毛治療のポイント」

出席者：28名

日 時：2008年5月28日（水）

場 所：グランドホテル神奈中・平塚

司 会：木花いづみ（平塚市民病院）

- 1 挨拶 (18:45～19:00) 塩野義製薬 (株)
- 2 総会 (19:00～19:10)
- 3 講演 (19:10～20:10)

講師：坪井良治 先生 (東京医科大学皮膚科学講座主任教授)

【要旨】 この講演では一般皮膚科医が日常診療で診る脱毛症のうち、頻度の高い円形脱毛症と男性型脱毛症の診断と治療のポイントについてお話しした。円形脱毛症は自己免疫機序によって発症する。円形脱毛症は、美容的な問題から患者さんの心理的負担が大きいので、精神的なサポートが必要である。治療方法として抗アレルギー薬の内服、副腎皮質ホルモン薬の外用・局所注射、局所免疫療法などが有効である。わが国で経口男性型脱毛症治療薬フィナステリド (プロペシア[®]) が発売されて2年以上経過した。保険適応外の内服治療薬であるが、一定の臨床的評価が下されている。当科でも1,000名近い患者がフィナステリドを内服している。有効性を確認するためには1年間以上内服することが推奨される。

- 4 症例供覧 (20:10～20:30)

齋藤玲子 (平塚市民病院)：当院で経験した脱毛をきたす疾患

- 5 懇親会 (20:30～21:30)

共催：平塚市医師会皮膚科部会、塩野義製薬株式会社

第48回例会 テーマ「臨床と病理の橋渡し」～ダーモスコピー活用法～

出席者：34名

日時：2008年9月24日 (水)

場所：野内ホール・平塚

司会：木花いづみ (平塚市民病院)

- 1 挨拶・製品紹介 (19:00～19:15) 「アレグラ錠について」サノフィ・アベンティス (株)
- 2 講演 (19:15～20:30)

講師：田中 勝 先生 (東京女子医科大学東医療センター皮膚科教授)

【要旨】 掌蹠の色素細胞母斑はダーモスコピーにて皮溝平行パターンを示す。皮溝部表皮索に優位に産生されるメラニンが角層内に分布するためである。線維状パターンでは角層内メラニンが斜めに傾き線維状に見える。これを斜め上から見ると皮溝平行パターンとなる。早期の末端黒子型黒色腫はダーモスコピーで皮丘平行パターンを示し、診断価値が高いが、荷重部では不規則線維状パターンとなり、病理では軽度の異型メラノサイト増殖のみのため、診断に迷う。臨床・病理・ダーモスコピーを総合して診断しなければならない。光線角化症と日光黒子 (老人性色素斑)、扁平苔癬様角化症の診断にもダーモスコピーが役立つ。日光黒子では淡褐色の均一な定型的偽ネットワークがみられ、辺縁ではmoth-eaten appearanceを呈する。光線角化症では淡紅色の背景の上に多数の乱反射する鱗屑がみられる。扁平苔癬様角化症では均一な青灰色の偽ネットワークとなる。

- 3 懇親会 (20:30～21:30)

共催：平塚市医師会皮膚科部会、サノフィ・アベンティス株式会社



地域医会だより

厚木市皮膚科医会

●平成20年度事業皮膚科医会例会

第24回厚木市皮膚科医会

平成20年5月29日

「小児科領域におけるMRSA感染症と抗菌薬療法」

富士重工業総合太田病院 副院長兼小児科部長 佐藤壮吉先生

第25回厚木市皮膚科医会

平成20年11月13日

「ニキビ治療の最前線——アダパレン登場の意義と使い方」

東京女子医科大学 皮膚科准教授 林伸和先生

厚木愛甲地区専門校医（相談医）事業

本年は講演はありませんでしたが、FAX相談への返信。

●平成21年度事業皮膚科医会例会

第26回厚木市皮膚科医会

平成21年5月21日

聖路加国際病院 皮膚科部長 衛藤光先生

第27回厚木市皮膚科医会

平成21年11月5日

広島大学医学部 皮膚科教授 秀道広先生

厚木愛甲地区専門校医（相談医）事業

引き続きFAX相談、講演を行う。また本年は、「アレルギー版;学校生活管理指導表」をどう有意義に活用していくかを中心に進めていく予定。

（文責：小幡秀一）



地域医会だより

丹沢皮膚の会

以前は長島典安先生、加藤禮三先生、栄枝重典先生と私の4人が世話人となり、年に2回の例会を開催していましたが長島先生が亡くなられ、加藤先生が体調不良のため辞されたので現在、世話人は2人になり、活動は休止している状態です。
(山本 修)



地域医会だより

相模原市皮膚泌尿器科医会

本会（相模原市皮膚泌尿器科医会）は、相模原市医師会の学術医会に属しております。従って相模原市の医師会員にて構成されております。相模原市の医師会に入会されますと、内科医会とか小児科医会などの分科会に参加を要請され、当会は皮膚科或いは泌尿器科を診療する医師会員が入会いたします。従って標榜が皮膚科、或いは泌尿器科以外でも可能です。

また県下の各地では皮膚科と泌尿器科が別々の地区が殆どと思いますが、他の分科会とのバランスも考慮し現在も分かれず一緒のままです。皮膚科を主とする標榜医は11名。泌尿器科を主とする標榜医は2名。皮膚科泌尿器科の標榜医は5名。皮膚科形成外科の標榜医が2名。以上で会員数は20名になります。会長は入会順で現在（平成21年7月）は広神先生が務めています。

平成20年度の活動は4月にNTT東日本関東病院皮膚科部長・五十嵐敦之先生が「痒み」の講演を、7月に北里大学皮膚科講師の齋藤典充先生が「尖圭コンジローマ」の講演を、9月には広島大学皮膚科教授の秀道広先生が「蕁麻疹」の講演を、11月には北里大学名誉教授の西山茂夫先生が「陰部皮膚疾患」の講演を各して頂きました。

それと北里大学皮膚科学教室の御厚意にて、6月に相模原皮膚科学セミナーで帝京大学皮膚科教授・渡辺晋一先生の「美容皮膚科理論」、12月に神奈川臨床皮膚病理組織検討会にて東邦大学大橋病院客員教授・斉藤隆三先生に「肉芽腫の病理組織所見」、平成21年3月に北里臨床皮膚フォーラム等に参加させて頂きました。

あとは年に2回位、気楽な宴席を設け、各人診療、或いは保険そして経営等のざっくばらんな会話を楽しんでおります。本年は懇親を兼ねた1泊位の研修旅行も計画しております。
(前会長大木記)